



田子町議会

令和元年5月31日

新体制になり気持ちを新たに、住民の皆様と田子町の明るい未来へ

田子町 議会だより

2019



目次	1. 田子町議会新体制紹介	P2
目次	2. 第2回定例会	P3
	3. 一般質問	P4~8
	4. 議員活動報告	P9~11
	5. 新議員の紹介	P12

第100号

令和元年7月25日発行
青森県田子町議会

新体制で臨む田子町議会

4月21日に行われた田子町議会議員一般選挙に伴い、新しく議長・副議長・各常任委員長及び委員会の構成員を決めましたので、ご紹介いたします。

○議長 澤口 勝 ○副議長 尾形 憲男

－議席番号－

1番 尾形 憲男	2番 蹴揚 清人	3番 椛本 義見	4番 宇藤 大介
5番 宮村 尚哉	6番 沢口 博二	7番 欠端 則夫	8番 山崎 美代志
9番 北田 騰	10番 澤口 勝		

※議長は10番、副議長は1番となります。

－委員会－

○総務・文教常任委員会

委員長 宇藤 大介
副委員長 尾形 憲男
委員 椛本 義見
山崎 美代志
澤口 勝

○産業・民生常任委員会

委員長 欠端 則夫
副委員長 宮村 尚哉
委員 蹴揚 清人
沢口 博二
北田 騰



○議会運営委員会

委員長 宮村 尚哉
副委員長 宇藤 大介
委員 尾形 憲男
沢口 博二
欠端 則夫

－事務組合等－

○三戸地区環境整備事務組合

蹴揚 清人・尾形 憲男・宮村 尚哉・沢口 博二・欠端 則夫

○八戸広域市町村圏事務組合

宇藤 大介

○三戸町及び田子町教育研究協議会

澤口 勝・宇藤 大介

○田子高原広域事務組合

椛本 義見・山崎 美代志

○監査委員

北田 騰

○二戸市・田子町道路組合

澤口 勝・蹴揚 清人・椛本 義見・宇藤 大介・宮村 尚哉

第2回定例会

定例会の
あらまし

令和元年第2回定例会が6月17日から6月20日までの4日間の会期で開催されました。

初日には報告3件、議案10件が上程され、最終日には追加議案4件が上程されました。慎重審議の結果、全て原案どおり可決となりました。

3日目の一般質問には欠端議員・沢口議員・北田議員・宇藤議員・山崎議員の5人が登壇し、田子町の現状と、これからの田子町について活発な議論が交わされました。

審議結果

令和元年6月定例会で審議した議案と、その結果を一覧で掲載します。

議案番号	件名と主な内容	議決結果
報告第6号	平成30年度田子町一般会計繰越明許費繰越計算書について	
報告第7号	一般財団法人田子町にんにく国際交流協会平成31年度事業計画並びに平成30年度事業報告及び決算について	
報告第8号	公益財団法人にんにくネットワーク平成31年度事業計画並びに平成30年度事業報告及び決算について	
議案第28号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	原案可決 (賛10・否0)
議案第29号	田子町国民健康保険税条例の一部改正について	原案可決 (賛10・否0)
議案第30号	田子町介護保険税の一部改正について	原案可決 (賛10・否0)
議案第31号	工事請負変更契約の締結について	原案可決 (賛10・否0)
議案第32号	町道路線の廃止について	原案可決 (賛10・否0)
議案第33号	田子町消防委員会委員の承認について	原案可決 (賛10・否0)
議案第34号	令和元年度田子町一般会計補正予算(第1号)について	原案可決 (賛10・否0)
議案第35号	令和元年度田子町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第1号)について	原案可決 (賛10・否0)
議案第36号	令和元年度田子町介護保険事業勘定特別会計補正予算(第1号)について	原案可決 (賛10・否0)
議案第37号	令和元年度田子町国民健康保険町立田子診療所及び介護老人保健施設事業特別会計補正予算(第1号)について	原案可決 (賛10・否0)
議案第38号	工事請負契約の締結について	原案可決 (賛10・否0)
議案第39号	工事請負契約の締結について	原案可決 (賛10・否0)
議案第40号	工事請負契約の締結について	原案可決 (賛10・否0)
議案第41号	工事請負契約の締結について	原案可決 (賛10・否0)



欠端 議員

美六姫について

問1

今年から美六姫が販売可能になる。加工なら問題がないと思うが種としても出荷されるものと考えられる。長い年月と資金・人員をかけ作りあげたものが簡単に他地域で増やせるようになる。町当局は種として利用されることをどう考えているか。

答1

町外への流出対策については生産者及び町

民が流出防止に一丸となって取り組む事が重要であると考えております。

問2

今までにどの位の金額を使って作り上げたのか。

答2

品種開発から品種申請までに要した経費は、1510万円、種子の増殖に要した経費は、人件費は約3960万円、資機材分は約3140万円、工事費は約960万円、備品購入分は約2730万円で、合計で約1億2300万円となっております。

問3

種として他へ出荷されないような手だてはあるのか。

答3

種苗法では、自家増殖を行ったものを他の農家等に有償無償に関わらず、渡すことは法律で禁止されておりまして。違反した者については、民事、刑事上の重い制裁を与えることが出来る。生産者には、情報提供と転売及び譲渡は違法行為であることとの意識づけを図り、分譲時には転売及び譲渡しないという誓約書への署名を実施したい。

問4

町内の業者等に頼んで集荷の一本化はできないかを聞きたい。

答4

町では美六姫のブランドを守るための仕組みができるのか、現在検討している。趣旨に

問5

賛同いただける生産者の皆様と、今後協議を進めていきたい。今年収穫される美六姫を一旦CA冷蔵庫に入庫していただき、9月までには方針を決定したい。

なぜ、今現在、検討中となるのか？ 植え付けが始まった時には少なくとも出荷を考えなければならなかったものと思っております。町としては作っただけで満足なのでしょいか？ 田子町のニンニクの優位性を保って農家の所得を上げる、田子町のイメージを上げるという話ではなかったか。

答5

品種登録できたことは一つの大きな成果である。ただ、これに甘

問6

もっと早くからチラシを配るなどして生産者へアクセスする事は出来なかったのか？ 現在、チラシなど対応をしているのか？ もう掘っている人もいますが、いつやるのか。

答6

現在のところ、文書の配布などは行っていない。なるべく早くア



ニンニク畑



沢口 議員

観光について

問1

みろくの滝の観光について、認識は如何。

答1

年間6800人ほどの来訪者があり、町も重要な観光資源と認識しております。

問2

四角岳・蛇王の松等の活用をどのようにとらえているか。



蛇王の松

答2

観光資源の洗い出しをし、観光協会と連携し、活用を図っていきたい。

問3

観光のコンサルに相談するつもりはないのか。

答3

国の事業を活用して、「環十和田湖GATEWAY構想」を作成したい。古民家を活用した、滞在、周遊型観光の拠点整備を進めたいと考えています。

漆産業について

問1

二戸市の一般質問で、近隣町村と連携し、原木生産を増やしたいとのことだが、町の対応は如何。

答1

八戸圏域事業で、漆を植栽しその供給システムを構築したいと考えており、町も産業化に向けた計画を作成していきたい。

問2

町の民間事業者が苗木を栽培しているらしいが、聞き取り調査はしていないのか。

答2

聞き取りを実施したところ、昨年度は一万本の苗木を生産し、今年の秋頃には出荷する予定だとのこと。

農業後継者について

問1

現状の認識は如何。

答1

農業後継者が少ないことは十分認識しており、対策に注力していくつもりです。

問2

農家の後継者の比率を把握しているか。

答2

弘前大学の調査によると、後継者の決定が17%、その予定であるを足して31%程度となっております。

問3

タバコ産業の現状、見通しは如何。

答3

生産者、面積とも減少し、販売額も10年前

フィリピン訪問について

問1

今回の訪問の目的は、また継続するつもりなのか。

答1

外国人材活用の可能性につき、実務的な協議を行うつもりです。継続については調査、研究の上、決定したいと考えております。

問2

6名の派遣者の構成は如何。

答2

産業振興課長、一次

問3

産業戦略推進リーダー、政策推進リーダー、通訳と合計4名ですが、余分に2名分を補正計上しました。

答3

町が労働者の斡旋を行うつもりなのか。

断定はできませんが、可能性はあると考えております。



農業の力となる人材活用



北田 議員

山本町政について

問1

これまでの二期7年半の田子町政を振り返り、公約等に基づく施策の進捗状況、町づくりにおける問題や課題、次期町長選の意欲と町づくりの考えについて伺う。

答1

7年半を振り返ると、町民との意思疎通を図り、町民の声を町政に反映させるために対話集会を実現させた。公約等に基づく施策の進

捗状況について、公約実現に向けての各種施策の事業の立案と着手については、周知方法の改善や事業の進め方を考慮すると総じて75%、事業効果と政策の浸透の度合いで見れば、

60%。三期目を、意欲をもって取り組んで行きたい。我が町には、

先人が守り育ててきた3つの宝がある。「清流、

豊穡の大地、豊かな山林などの大自然」「明るく、思いやりに溢れ、

仕事熱心な町民」「工夫と改善を重ね、行動力

と実現力を生み出す田子魂」この3つの宝が、

存続し更に輝きを増す様、人口構成比率の改善を図り、田子町の存続を求めて次の項目に

取り組む。

1. 選ばれる田子町へ

2. 魅力と力のある産業へ

3. 生き甲斐とやり甲斐に満ちた町民生活

4. 地域を継承し共に歩む人財づくり

5. 危機管理体制の強化

6. 八戸能代間横断道路の早期計画着手



田子町役場庁舎

防災対策について

問1

近年、多くの地域で風水害や土砂災害、東日本大震災に代表される巨大地震が発生しております。まさかには備えて平時からの防災対策が必要と思えますが今後平時時にどのような対策を講じていくのか伺います。

答1

平時時から防災対策としてまずは防災訓練。実際に身体を動かして体験しながら活動する総合防災訓練、本部機能や自主防災組織と一緒に実際の災害を想定した図上訓練等実施していきたいと思えます。

問2

自主防災組織の結成を進めています。活動を充実させていくためには防災リーダーの育成が必要と思う。防災リーダーとなりうる可能性のある防災士を自主防災組織の会員や防団員、役場職員に受けさせることについて。また、防災士取得にかかる費用の一部助成について検討していただけるか伺います。

答2

防災士の資格取得についてであります。防災士の資格取得に要する費用に対しての、補助金を計上させていただきます。予定としては役場職員3人分、自主防災組織の方々を5人分の計8人分を計上しております。費用については全額補助ということ、こちらでも積極的に進めて行きたいと思っております。



災害発生時の役割



宇藤 議員

高齢者福祉について

問1

現在我が国は国民の4人に1人が65歳以上という超高齢化社会を迎えている。少子化の進行はもとより、地域社会の機能や世帯構造が大きく変化する中で高齢者福祉のあり方が大きな課題となっている。

ランドデザインはどの程度構築されつつあるのか。現状の高齢者向け施設のキャパシティは適切であるか。新規の拠点作りの意向はあるのか伺う。

答1



老健たっこ

平成28年に発表された田子町長期人口ビジョンによると、人口全体に占める高齢化率のピークは、約20年後の2040年に50%を超える推測となっている。町としては、介護人

材確保を目的とした個人負担なしでの資格取得研修の実施や、町内で行われているサロン活動への支援、認知症予防教室の開催、全身を動かす生きがい倶楽部の実施等、町民が元気に楽しく暮らせる町作りに向けて取り組みを強化している。将来の「ランドデザイン」に関しては、平成28年度～令和7年度までの10年を期間とした「第6次田子町総合計画」において、健康面や地域活動などをより推進するための方向性を示し、更にその先の展望については次の総合計画の課題としている。現在町内の介護施設等の受け入れ体制は、概ね利用者ニーズを満たしているが、希望の施設に入所できず一時的に他のサービスを利用している方や待機者が

ある実情はある。これからも介護を必要とする高齢者の増加は避けられないが、コストの負担が大きい新しい施設の建設は考えられず既存の施設を活用する方向で進めていくことをご理解願いたい。

たっこにんにく製品向上対策事業費について

問1

町のニンニク優良種子である「美六姫」による更なるにんにく振興が推し進められ、「日本一のにんにくの首都」を標榜する我が町看板作物への当助成事業費が減額となった背景、経緯を明確に示せ。

答1

我が町のニンニク生産の落ち込みに対する

平成27年度からの助成事業であり、高温処理・CA冷蔵庫の利用料補助や土壌消毒に関する経費やシート乾燥機等の購入費、転作田等々新規ほ場とするための経費を補助する本事業費は町の財産面を考慮し、補助率を変更し事業の見直しをするべきと判断した。農家支援の仕組みから今後継続できる取り組みへの方向転換への意図であり、別な視点へ向けた仕組み作りが根底にあることをご理解願いたい。



美六姫

要望

我が町の基幹産業である農業への支援と助成は、むしろ拡充していくべきもの。財政面を憂慮しての削減なのであれば農政の分野でなくとも良いのではないかと。事業の打ち切りや軽減については十分に農家生産者の現状と思いを勘案したものにすべき。



農業の明るい未来へ



山崎 議員

人口減少について

問1

人口減少対策として様々な支援をしているが、その現状と成果を伺いたい。

答1

賃貸住宅の建設や住宅料助成金の支給などにより移住定住に効果が出てきています。

農業振興について

問1

J A 八戸に合併して

10年。町の農業振興に対する懸念について町長の認識を伺いたい。

答1

町として独自の農業政策の展開を一部考えていく必要があると思っています。

問2

「美六姫」取り組みの現状と今後のニンニク生産について伺いたい。

答2

安定的な供給を行うため、増殖事業を進めながら、美六姫ブランドとしての販売を検討しているところです。

問3

道の駅構想の進捗状況と運営主体など町長の考えを伺いたい。

答3

管理運営の手法のひ

教育について

問1

県立高校再編の認識を伺いたい。

答1

今後、田子高校の「募集停止」という基本的な方向性のもと、県と協議をしていく。

問2

幼稚園・保育園の関係と今後の対応について伺きたい。また、国が進める幼児教育・保育無料化について現段階の町としての考えを伺いたい。

答2

今後も幼稚園・保育園はそれぞれの教育の良さを活かし継続して運営していきたいと考えております。また、国が進める幼児教育・保育の無償化については、近隣町村との情報共有や関係機関との連携を深めてまいりたいと考えております。

問1

診療所の運営状況について伺いたい。

答1

診療所に医療機器を更新し最新の器材となりましたので受診していただければと考えております。

医療・福祉・介護について

問1

狭い生活道路。消火栓が不足。上水道が引かれていない。防犯灯(街路灯)の不足などこのような箇所の整備補修について伺いたい。

答1

このようなさまざま生活環境における地域や住民からの要望には順次お応えして事業

問2

高齢者居住サービスのせせらぎの郷の増設(満室解消)の考えはないのか伺います。

答2

施設を増やすということではなく既存施設を活用する方向で考えております。

答2

生活環境について

問1

フリー乗降の拡大する区間を増やすために届出などの準備を行っています。また、運行経路などの見直しにについてもご相談いただければと思います。

問2

を進めておりますのでご相談していただければと思います。

コミュニティバス運行におけるフリー乗降の実施と運行経路などの見直しも含めて町長の考えを伺いたい。

フリー乗降の拡大する区間を増やすために届出などの準備を行っています。また、運行経路などの見直しにについてもご相談いただければと思います。

コミュニティバス





○議会って何をするとお思いますか？

：日本国憲法には、地域のことは地方公共団体が行う「地方自治」、地方公共団体の議事機関として「議会」を設置するとなっています。

- ・ **議会と町長**：暮らしや町づくりに関する様々な仕事を、町民の皆様にご代わって決定・実行するのが、議会と町長で、どちらも対等であり、お互いに討議し強調を図りながらよりよい町政の為に努力します。

議会運営委員会（議会広報編集委員会）

【構成委員】 宮村尚哉委員長 宇藤大介副委員長 尾形憲男委員
欠端則夫委員 沢口博二委員

協議

○実施日6月7日
6月17日開会の令和元年第2回定例会の議事日程について協議を行いました。

議会広報編集委員会

○実施日3月27日
議会だより第99号の内容を確認し、誤字・脱字・レイアウト等の校正を行い、平成31年4月8日に再度招集し最終校正を行い、平成31年4月25日に発行しました。

○実施日5月22日
青森市で開催された町村議会広報研修会に参加し、議会だより発行の目的や編集方法について研修してまいりました。

○実施日6月7日
議会だより第100号の構成、スケジュールについて協議し、担当者割り振り、順次業務を行うていくことにしました。

総務・文教常任委員会

【構成委員】 宇藤大介委員長 尾形憲男副委員長 椛本義見委員
山崎美代志委員 澤口勝委員

○実施日 6月4日

教育課

県立田子高校について、募集停止に向けての今後のスケジュールや中高一貫教育への影響等確認のため県教育委員会と協議を進めているとの説明がありました。

総務課

6月補正予算は人事異動に伴う人件費の補正、橋梁補修事業やプレミアム付き商品券発行事業などの補正が主なものと説明がありました。

委員から、町財産の現地調査を実施してはと意見が出されました。

政策推進課

一般財団法人田子町にんく国際交流協会の平成31年度事業計画並びに平成30年度事業報告及び決算の概要説明がありました。

住民課

コミュニティバスの利用状況が報告され、人口減少の影響もあり利用客数も年々減少しているとのことでした。また、フリー乗降区間の試行運行については、新たに4路線について10月から実施する予定との説明がありました。

税務課

税の徴収率は、昨年度と比較すると一般税ではわずかに下回っており、国民健康保険税ではほぼ前年度並みの状況で、今後も引き続き徴収を強化していくとの説明がありました。

産業・民生常任委員会

【構成委員】 欠端則夫委員長 宮村尚哉副委員長 蹴揚清人委員
沢口博二委員 北田騰委員

○実施日 6月5日

診療所・老健施設

本年度の医師は2名体制で、医療サービスの向上に努めるとのことでした。6月補正予算では、診療所臨時事務員1名分の賃金と老健施設電動ベッド購入費用などが主な内容との説明がありました。

地域包括支援課

生活保護世帯や低所得者世帯などの介護保険料の負担軽減を図るため、関係する介護保険条例の一部を改正することについて説明がありました。

住民課

田子保育園入園状況は115人、上郷保育園には16人が入園し、委員会からは、田子保育園に通じる道路整備の状況について説明をいただくよう要望いたしました。

建設課

世紀越えトンネルを含むバイパス整備の具現化について、今年度の活動計画の説明がありました。町道等の改良及び維持管理事業では、工事発注予定の説明がありました。

産業振興課

たっこにんにく等の振興開発について説明があり、オリジナル種子増殖事業については、生育状況は昨年よりも一週間程度早く、6月中旬の収穫を予定しているとの説明がありました。

農業委員会

農地移動のあった件数と面積についての説明がありました。

広報クリニック研修

令和元年5月22日 青森市



研修会の様子

「町村議会広報研修会」が青森市にある労働福祉会館にて開催されました。宇藤委員とわたくしと事務局2名で参加し、議会だよりについてグラフィックデザイナーの長岡光弘氏から「広報誌作成のスキルポイント」を学んでまいりました。昨年に引き続きの講師だったこともあり講演の内容もポイントも関連づけて入りやすかった。何よりも、プロとして素人目線での解釈や手法等、受講している側

にとつて有意義な時間を過ごすことが出来ました。議会だよりや広報誌を通して何を伝えるか、どれだけ良い情報を持って伝えたい思いを抱いていても、編集がダメだと住民には伝わらず無駄になってしまふ。読み手の読んでもみたいという気持ちで視覚を使って引き込む為には、レイアウトなどを凝って自己満足をするのだけでは何も伝わらず、色・形・文字やレイアウトの大きさやバランスが大切であるとのことでした。2部では各市町村代表の議会だよりのクリニックが行われました。スキルポイントを学んでからの実際のクリニックは、学ぶ事が多々あり、今後の自分たちの広報活動に役立てたいと思います。

(宮村 尚哉)

キリスト慰霊祭

令和元年6月2日 新郷村

新郷村にありますキリストの里公園にて神聖な雰囲気の中キリスト慰霊祭が行われました。小高い丘にあるイエス・キリストとイスクリの墓に新緑の木漏れ日が差し込み、大勢の参拝者と共に獅子舞やナニヤドヤラ等が披露されました。諸説ございますが、イエス・キリストは日本に渡来し神学について修行をし帰り、その後、弟が身代わりとなりキリストは再び来日し戸来村に住んだそうです。新郷村には、戸来の地名はヘブライが語源といわれていることや、初めて子どもを野外に出す時は額に十字を記したり、足がしびれた時は額に十字を書くなど、数多くの説が伝わっております。

我が田子町にも南部藩をはじめとする様々



神聖なる奉納行事

な歴史とロマンがございます。今一度、自分たちの町に目を向けて町の良さというものを再認識し後世に残すものや、時代の流れと共に変化し、より良くしていくもの、まだまだ田子町には可能性を秘めているものが多いと感じました。

(澤口 勝)

正副議長研修会

令和元年5月28日

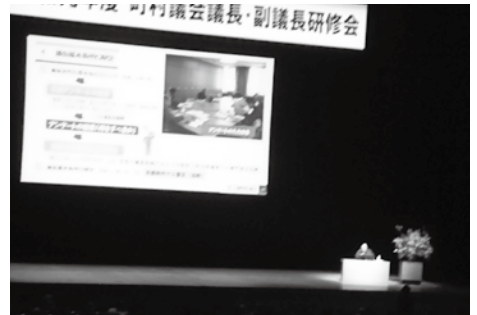
東京都



全国の各町村から集まった研修会

全国町村議会議長会主催の町村議会議長・副議長研修会に参加してまいりました。会場は東京国際フォーラムホール、ここからの町村議会を考えることをテーマに大学教授による講話と全国表彰となつた三町村の取り組み事例を拝聴いたしました。「町村議会議員の議員報酬等のあり方 最終報告」では、三名の大学教授による議員の定数と報酬をめぐる論点の洗い出しと検証がなされ、定数・報酬削減の傾向は議会の存在価値にかかわる重要な問題であると指摘し、自治体議会に対する住民の厳しい目線の反映も「なり手不足」を加速させている一因と定義づけ、全国町村の現職議員数も現状では定数を満たせていないとの検証により、人口規模に応じて大きな開きのある報酬も平均的には低報酬の傾向にあるため、「負のスパイラル」からの脱却の必然性を

説き、報酬や必要な予算確保の必要にも言及がなされました。議会についての住民の理解を促進するため、①議会活動を活性化し、活動量を増大させる。②休日夜間議会など、住民が参加しやすい環境作りを進める。③議会が行政監視や政策立案といった機能を拡大し、それを住民に説明する等の提言がなされました。町村の優良取り組み事例では、住民に寄り



表彰町村の取組みから学ぶ

添う議会運営が共通のテーマとされ、傍聴者議会モニターに小冊子を配布して議会の流れや中身を理解してもらうことに努めたり、会議の効率化を図るために、タブレット端末、ICTの活用が多くなされるなど、議会と議員の役割を改革の取り組みを通して住民が考え直す機会を持ち、「議員の役割、やりがい」を知らしめることや住民の代表であるとの認識の強化などが挙げられました。研修を通じて我が町の現状と全国の町村議会の違いはあれど、住民全体の奉仕者としての気概を常に持ち続け、皆様からの信頼と期待に真摯に向き合うことが何よりも肝要であると思いを新たにいたしました。

(宇藤 大介)

編集後記

田子町議会だよりも皆様のご協力のもと、節目となる100号を発刊できましたことを田子町議会一同、心より感謝申し上げます。これからも町民の皆様へ「読んでいただける」を目標に、邁進して参ります。

(宮村 尚哉)

発行・編集責任者

議長 澤口 勝

議会広報編集委員会

(100号)

委員長 宮村 尚哉
副委員長 宇藤 大介
委員 尾形 憲男
欠端 則夫
沢口 博一

執筆協力

山崎美代志
北田 騰

田子町議員の紹介

議席番号 氏名
行政区 年齢

議 長

新議長あいさつ

この度、令和元年第1回臨時会におきまして、伝統ある田子町議会議長に就任いたしました。改めまして、責務の重大さを認識し、議長として全力を傾け公正かつ円滑な議会運営に取り組んで参ります。我が田子町は少子高齢化や福祉・医療のあり方等、様々な問題に直面しております。地方自治体の果たすべき役割は大きく、町民が安心して暮らせるよう、議員一人ひとりが十分に役割を果たし、小さな声も町政に反映させることが出来るよう活動して参りたいと存じます。



10番 澤口 勝
遠瀬 70歳

副議長



1番 尾形 憲男
清水頭 48歳



2番 蹴揚 清人
北側 74歳



3番 梶本 義見
野々上 67歳



4番 宇藤 大介
野々上 47歳



5番 宮村 尚哉
矢田郎 48歳



6番 沢口 博二
下本町 63歳



7番 欠端 則夫
川代 65歳



8番 山崎 美代志
新田 63歳



9番 北田 騰
南側 66歳